

file 05

社会活動

入部祥子さん

NPO(特定非営利活動)法人
オハイエくまもと代表
とっておきの音楽祭実行委員長
菊池中央病院小児科医師

PROFILE

1947年人吉市生まれ。熊本高校、熊本大学を卒業し、小児科医師となる。2児の母。現在は夫と2人暮らし。



仙台で生まれた言葉
「オハイエ」
音楽を通して
「心のバリアフリー」を

NPO法人オハイエくまもと
TEL : 096-325-3533
URL : <http://ohaie-kumamoto.org/>

—「オハイエくまもと」について教えてください。

入部 「オハイエ」は仙台で生まれた「オハヨー！+イエーッ！」の造語。一言で表すと、スペシャルオリンピックスの音楽版です。障がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しみ音楽の力で「心のバリアフリー」を目指す活動です。普段は知的障がいのある

人たちに音楽やダンスを指導し、発表の場として「とっておきの音楽祭」を年に1度開催しています。「とっておきの音楽祭」は仙台で生まれて、熊本、人吉や全国各地に広がっています。参加する障がいのある人たちが喜ぶ姿やすばらしい演奏に触れ、成長に立ち合える感動。障がいのある人たちの家族も交流し、元気になる姿を

取材担当
熊本大学3年
請舩葵

見られるのが活動の喜びです。

—医師として仕事をしながら団体を立ち上げられたのですね。

入部 世話好きな両親の影響もあり、ボランティア活動は身近でした。仕事以外の人のつながりもほしいと思っていたとき、息子の友だちのお母さんに誘われて、ユニセフの活動を始めました。また、姉がスペシャルオリンピックスのテニスコーチをしていた縁でスペシャルオリンピックスの仲間たちに出会い、全国大会が熊本で開催される際に医療委員長を務めました。その後、ドキュメンタリー映画「オハイエ！」を熊本で上映する実行委員長を依頼され、引き受けて上映会をし、映画を観た感動で「オハイエくまもと」を設立することになりました。

—学生時代に現在の自分の姿を想像できましたか。

入部 全く想像していませんでした。父の後を継ぐように、親に医師にな

るルールを敷かれました。ですから息子には自由にさせました。進路について一時は反抗した時期もありましたが、医師の仕事の素晴らしさ、やりがいを感じ、今はありがたく思っています。また、健康管理に気を使わなければならない障がいのある人たちと一緒に活動が、医師である私に巡ってきたのも運命だと思っています。

私は、生きる場所が「1つだけ」の人生はもったいないと思います。いろんなことに目を向けて行動してほしい。いつか、自分のためになりますよ。



2015年	2014年	2013年	2011年	2009年	2008年	2007年	1990年頃
「第6回とっておきの音楽祭」開催	くまもと県民文化賞受賞	「オハイエくまもと」がNPO法人に認証される	「オハイエくまもと」第1回とっておきの音楽祭開催	「オハイエくまもと」立ち上げ	ドキュメンタリー映画「オハイエ！」上映会実行委員長となり、映画鑑賞する	スペシャルオリンピックス全国大会の医療委員長を務める	ユニセフ熊本県支部ボランティア・運営委員で活動

輝きの軌跡
入部祥子さんの
キャリアストーリー